

JIA 関東甲信越支部長活動報告

2016年2月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

6月10日～12日の第1回支部大会まで残すところあと4か月余りとなりました。「保存」「環境」「災害」「まちづくり」「国際」という5つの活動を、横断したテーマとして掲げています。我々建築家や専門家と市民・行政を交えて意識を共有し議論する場を設けることで、地域に根付いた建築家の役割を明らかにすることが大会の大きな目的です。

昨年24回目を数えた保存大会ですが、担当する地域ばかりに多くの負担が係っていました。また委員会活動の知見はJIAの大切な財産ですが、その大切な活動成果を横に連携して多くの会員そして地域で共有すること、建築に関して一般市民の興味や期待が増し多様化する現状など、保存大会の在り方を議論する中で支部大会の開催が決まりました。

昨年1月発足した支部大会検討委員会での議論を踏まえ、4月より実行委員会が立ち上がりましたが大会開催まで約1年間という短期間の準備開催で、実行委員特に群馬地域会では骨身を惜しんでまとめていただいています。ようやく中身の濃いプログラムがまとまり、ホームページでの広報も本格化しました。今までの保存大会を超えた多くの会員からの関心並びに積極的参加を宜しくお願い申し上げます。

<http://www.jia-kanto.org/shibu-taikai/2016/>

2016年2月24日に東京三会から「建築設計にかかる契約手続きについて」要望書を、東京都財務局及び東京都議会自民党に提出いたしました。東京都発注設計業務の新規並びに大規模プロジェクトへのプロポーザル方式の拡大、並びに小規模な修繕等プロジェクトが低額で発注されていることを是正することが目的です。東京都は初めて最低制限価格を他業界に先駆けて建築設計で設けることとなります。三会で検討し合意した内容であれば、東京都としてはそれを取り入れられる予定です。

<http://www.jia-kanto.org/members/wp-content/uploads/2016/02/20160224uauasseeaioeiaenoiath.pdf>

3月4日、支部地域サミットが開催されます。初めての試みに18時よりサミット第2部として首都大学東京准教授の市古太郎先生をお呼びし、社会から専門家の関わりが求められる事前復興まちづくりの勉強会を行います。地域サミット出席者のみならず、誰でも参加可能な勉強会としておりますので、大勢の参加をお持ちしております。

http://www.jia-kanto.org/members/event/event_m/lecture/summit2_0304.html

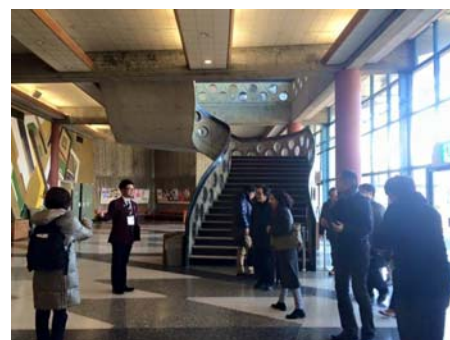
支部長活動報告

- 5日 JIAとJCCA(建設コンサルタント協会)の共催シンポジウム「誰が景観を創るのか」が新宿TOTOで開催されJIA、JCCAはじめ多くの参加者がある。この日のシンポジウムは9回目となる。市民目線で景観にどのようにコミットできるか、他分野に興味を持って越境した議論が展開された。講師は、内藤廣氏(建築家/東京大学名誉教授)、神田昌幸氏(国土交通省並びに倉敷市助役、富山市副市長を務めた景観法の仕掛け人)、坂井文氏(東京都市大学教授)、小林正美氏(建築家/明治大学教授)
- 8日 東京三会建築会議が開催される。昨年12月15日の行政懇談会での意見交換を受けて、再度2月12日に東京都財務局との行政懇談会が設定されており、東京都発注契約手続きに関する要望書案について議論する。三会各会の役員会での議論並びに合意事項は、ほぼ一致している。
- 9日 3月8日から始まるスウェーデン大使館主催イベントへ「Treasures of the Forest～森のタカラ、未来のチカラ」にJIAは後援(一部共催)している。日本とスウェーデンの建築学科学生を対象としたコンペが開催され、JIAとSIA(スウェーデン建築家協会)で相手国の応募作品を審査する。今日は駐日スウェーデン大使館に赴き、ローバック駐日大使、安藤直人東京大学名誉教授、芦原会長、高階、小坂両支部国際事業委員、上浪、とでディスカッションしながら最優秀案を決めた。
- 11日 今日は休日を利用して群馬に赴き、午前中は前橋、午後は高崎に移動して支部大会実行委員会を開催する。コンペ敷地エリアや各会場の視察、普段委員会に参加されていない群馬地域会会員の生の声も聞くこともでき、4ヶ月後の大会開催に向けて気持ちを新たにした。
- 12日 東京三会と東京都財務局との行政懇談会が開催される。東京三会で合意した意見を基に意見交換する。東京都としても概ね受け入れられる内容であり、早急に要望書として提出することになる。
- 16日 JIA-KITアーカイヴス会議が開催される。地域の建築博物館設立の支援が議論される。会員が事務所をカフェやセミナー会場として地域に開放して、一般市民へ建築の関心呼び起こすなどの事例から学びたい。また、建築家会館で建築展示会を定期的で開催するなどの提案がある。アクションプラン特別委員会が開催される。正会員=登録建築家の方針決定を受けた正会員入会資格の整理、JIA広報の要としてJIA内外の情報収集・整理などが議論された。
- 18日 正副会長会議が開催される。予算、決算の見込みについて、正会員=登録建築家の方針決定を受けた正会員入会資格の整理について、2018年アルカシア大会について、等が議論される。
- 19日 東京都財務局へ三会で赴き要望書案について協議する。本部総務委員会

が開催される。入退会審査、事務局関連規定、フェロー会員申請、税額控除について。正会員がとうとう4,000名を切った。正会員入会資格の整理が急務だ。支部委員長会議が開催される。委員会規約、登録建築家と正会員、建築家クラブ利用、支部大会、について意見交換する。

26日 支部常任幹事会が開催され、以下の議題が議論される。次週の地域サミット議題について、2018年支部大会・本部大会・アルカシア大会について、名誉会員推薦について、正会員入会資格の整理について、ベテラン人材バンクについて、支部総会について。

27, 28日 長野建築祭に参加する。土曜日は栗生明氏による1時間半の講演があり、今更ながら作品の完成度とクールさに感銘を受けた。その後は恒例の懇親会及び二次会で長野メンバーとの懇親を楽しんだ。日曜日は朝9時から夕方5時まで高校生、専門学校生、大学生の卒業設計作品の審査会を行う。以前、高校生の作品は製図作品という感じだったが、今年作品は建築的にテーマ設定され高度な作品が多く驚いた。応募された作品の内、多くの生徒・学生が参加され例年以上に活気のある審査会となった。



支部長活動報告 2016年2月

2016年3月2日作成 上浪 寛